戦国期本願寺教団というとき、まず想されるのは「一向一揆」である。戦国期本願寺教団の影響、特に「一本一揆」の影響が著しく、この影響はその後の文化、政治、社会に大きな影響を与えた。のちの「定衆」とは、この影響を反映したものと考えられる。

この法主の側面を分析するに当たっては、次の二点を考慮する必要があると考えられる。

1. 心を含むものであるか否かを判定する。
2. 心の内容を分析する。

以上の二点を考慮することにより、心の内容をより具体的に分析することが可能となる。
常佐衆は、宗主一家衆、三十日番衆と共に、門末よりの希望に催される中著に参加する。
（常佐衆は、宗主一家衆、三十日番衆と共に、門末よりの希望に催される中著に参加する。）
（常佐衆は、宗主一家衆、三十日番衆と共に、門末よりの希望に催される中著に参加する。）
（常佐衆は、宗主一家衆、三十日番衆と共に、門末よりの希望に催される中著に参加する。）